

ご挨拶

MLAJ代表
後藤 治久



当協会は平成14年12月設立から、医療リンパドレナージ施術者の中級修了者を440名余養成し、本年度は更に150名余の修了者を予定しています。

全国5カ所（東京・神奈川県・京都・大阪・宮崎）にて実施し、少しでも近くで講習が受講できるようにと考えました。

この様な開催ができるのも、ひとえに会員の方々および関係者皆様のご支援、ご協力のお蔭と感謝いたしております。

当協会の次の活動目的である普及啓発・情報提供として、第4回学会大会を、「リンパ浮腫治療の普及と教育」と題して日本赤十字看護大学広尾ホールにて開催いたします。

午前中の基調講演で「認定看護師教育の状況」が語られ、会員の発表に続き、リンパ浮腫の患者さんによ

る藤間流師範・藤間秀睦さんの日舞の披露があります。患者さん達の励みになって頂けたらとお願いをいたしました。

午後のシンポジウムにて医学会、治療研究会、看護大学、緩和ケア現場、癌患者会、社会一般、施術者養成等普及・教育状況が提示され、いろいろな現場での現状と課題が話し合われる予定です。この機会が少しでも、関係者皆様の問題解決の助けになり、今後の進むべく道を示唆するきっかけになってくれることを願っています。

また本年もハンス・ハルトック先生を招来し、東京・静岡・札幌・京都にて、患者会・医療者・当会講習会修了者対象の講演会・講習会を実施いたします。

今後引き続き、患者さん及び周辺の方々のQOLを高める施術者を教育し、講演会などで「医療リンパドレナージ・複合的理学療法」の普及・啓発に努め、リンパ浮腫に対する周囲の正しい理解が進み、治療環境が整い・発展していくことを期待いたします。

（平成19年7月）



会員レポート

〈臨床の現場から〉

現在、臨床で活躍しているお二人のセラピストにお聞きしました。実際臨床の現場に立つと問題も多いと思います。お二人のお話を参考にしたいだけだと幸いです。今回は以下の質問をしています。

- ①リンパ浮腫治療歴はどのくらいですか？
- ②何の医療資格をお持ちですか？
- ③所属する治療院、病院とその所在地
- ④治療を始めてみて最も難しいと感じることは何ですか？
- ⑤どのように広報活動をしていきますか？
- ⑥料金設定はどのようになっていますか？
- ⑦物品の管理はどうしていますか？
- ⑧医師との連携はどのように行っていますか？
- ⑨リンパ浮腫の治療は全体の治療の何割を占めますか？
- ⑩今後リンパ浮腫に関することやっていますか？
- ⑪今後のMLAJの活動に要望はありますか？

田中悟子さん



①2年 ②鍼師、灸師、アマ指師 ③3000治療院、神奈川県相模原市相模大野8-2-2 6F ④患者様にもってセルフのセッションをもち、マッサーやバンテージをやって頂くのが難しいです。⑤広報は、今のところほとんどやっていません。HPでのみお伝えしています。近くに北里大学病院があり、患者様はそこからの紹介が多いです。⑥初診14000円（120分程度）・再診7600円（60分程度）⑦3〜4人程度は揃えています。無くなり次第補充しています。⑧まずは診療情報提供書を頂き、治療開始後、治療開始報告書を主治医の先生にお送りしています。何か変わったこと、分からないことがあると主治医の先生に連絡を取り、お伺いしています。治療開始から数ヶ月経過したら治療経過報告書をお送りしています。⑨全体の約3割程度になりました。

⑩現在は治療をしていすが、できれば教師としての勉強もしていきたいと思えます。⑪日本でもセラピスト養成のコースのほかに教師養成のコースもできると良いと思えます。よろしくお願ひ致します。



寺岡和美さん



①2年半 ②看護師 ③神奈川県立がんセンター ④横浜市旭区中尾1-1-2 現在、リンパ浮腫外来は専任ができたため月約10回に増えました。私は、病棟勤務と兼務しながら、毎月1回担当しています。⑤患者さんがご自宅でも継続してケアしているのをバックグラウンドを把握した上で、セルフケアの指導をしていくことが重要であると日々感じています。⑥院内では院内広報誌にリンパ浮腫について紹介したり、毎年セラピストたちが協働しリン

パ浮腫の勉強会を開催しています。院外においてはセラピスト各自が執筆活動や、患者さん・医療者従事者向けの講演・講義を行っています。⑥保険診療なので診療科再診料のみです。⑦リンパ浮腫外来ブースにおいてセラピストが、弾性スリーブ・ミトン、弾性ストッキング・フットキャップなどの各社サンプルや弾性包帯類を管理しています。⑧初診時に必ず主治医からリンパ浮腫外来宛に依頼書をいただいています。治療においてセラピストが主治医に相談したい場合・主治医の診察が必要と判断した場合はリンパ浮腫外来から主治医宛に依頼書を提出し、連携していただきます。主治医が不在のときは、リンパ浮腫外来担当医師（兼務）と連携し対応できるようにしています。⑨リンパ浮腫外来におきましては、対象が浮腫の患者さんだけになります。⑩リンパ浮腫について知識を深めるために、海外文献を読むことにもチャレンジしています。⑪海外の研修ツアーがあれば是非参加したいと思えます。



日本リンパ学会

6月8日(金)から10日(日)の3日間、長陵会館(宮城県仙台市青葉区)で、「第31回日本リンパ学会」が開催されました。

日本リンパ学会は、1975年「日本脈管学会」の「リンパ研究会」が学会として発展し、「リンパ学」の基礎や臨床に関する研究を行い、会員の知見の交流と相互の理解を深めることを目的に毎年開催されています。10日午前中は、会員98名、非会員47名の合計145名が参加して、一般演題「リンパ浮腫」・「リンパ浮腫の治療」のテーマで発表が行われました。「リンパ浮腫の治療」では、東京大学医学部形成外科光嶋勲先生が座長を務められ、リンパ浮腫治療室室長佐藤佳代子先生による「下肢リンパ浮腫患者に対する複合的理学療法の効果についての検討」が発表されました。



基調講演では、真泉会第一病院名誉院長加藤逸夫先生が座長を務められ、「リンパドレナージュの実際」というテーマで佐藤佳代子先生が「腕」のリンパドレナージュについて講演されました。

医師やセラピストの他、たくさんの方が参加されており、この学会を通して、リンパ浮腫については複合的理学療法が最もスタンダードな治療法であると認知され、同時に複合的理学療法を行える治療施設・セラピストを増やすことが強く望まれていることを改めて認識する場となりました(レポート・田中先生)

生活ケアサポーター講座のお知らせ

第2回生活ケアサポーター講座・医療従事者向け講習会を開催いたします。1回目は自宅で作れるセルフケアの早期指導がテーマでしたが、今回は「実際の症例をもとにして、その対処法を考える」がテーマとなります。

講師は、笹倉淳子先生(MLAJ認定教員)で、術後指導の際に必要な基礎的な知識を、わかりやすく説明いただきます。詳しくは同封のご案内をご覧ください。参加申し込みは、ご案内裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、事務局までファクシミリにてお申し込みください。

第4回MLAJ 学術大会のお知らせ

MLAJ主催の第4回学術大会が11月18日(日)に東京渋谷・日本赤十字看護大学「広尾ホール」で開催されます。今大会のテーマは「リンパ浮腫治療の普及と教育」です。複合的理学療



ハルトック先生 来日講演のお知らせ

今年も、ドイツよりハンス・ハルトック先生とアネット先生をお迎えして講演会を開催いたします。本年は会員向けの実技講習会が2回あり、会場は

- ① 東京・大森の 東京衛生学園専門学校と、
- ② 京都・東山の 仏眼鍼灸理療学校です。

開催日時は
① 11月24日(土) 午後1時~午後4時
② 11月25日(日) 午後1時~午後4時
内容は、2会場ともに「婦人科がん治療後のKPE・実技指導(乳がんを除く)」です。定員は各会場30名。お申し込み方法は、ご希望の講習会をMLAJ事務局までお電話にてご連絡ください。

受付は9月4日(火)から開始します。料金は会員7000円、他 8000円です。(※受講資格はMLAJ講習会中級修了以上)

11月18日(日) 開会 午前10時
閉会 午後4時頃を予定
会場 日本赤十字看護大学 広尾キャンパス 「広尾ホール」

【追加情報】

次の日程で、ハルトック先生・アネット先生の講演会が企画されています。

- ① 11月22日(木) 医療者向け
- ② 11月23日(金・祝) 患者会向け

場所は北海道の札幌近郊を予定しております。(詳細は9月頃決定です)

事務局からのお知らせ

今年4月から協会の事務運営をスムーズに行うため、新しい会員管理システムへの移行を進めております。情報管理を強化し、ホームページのリニューアルも作業中です。昨年の夏に実施いたしました「情報開示事項確認」について、データの更新を行ないます。正しい情報をお伝えするため、ぜひご協力をお願いいたします。

お手数ではございますが、同封の書類をご確認ご記入いただき、期日までに返送ください。また、情報開示を希望されない方につきましては、その旨、事務局までご連絡下さい。皆さま、どうぞ楽しい夏をお迎え下さい。

